

平成 23 年 9 月 6 日

## 厚生年金基金と国の記録の不一致事例に関する調査について(案)

## ○ 調査の目的

厚生年金基金の加入員記録（以下「基金記録」という。）と国の被保険者記録（以下「国記録」という。）との突合せにおいて、基金加入の有無に関する記録が異なっている事例について、どのような類型がどの程度の割合で存在するかを調査し、それぞれの発生原因として考えられる背景を分析する。

## ○ 調査の概要

(1) 平成 23 年 8 月中に年金事務所で受付を行った基金からの調査依頼（一次審査に限る）のうち、各事務センターごとに 20 件（全国で 1,000 件程度）を無作為抽出し、国の被保険者記録（紙台帳、オンライン記録）と基金記録の間で、以下の状況を調査・分類し、それぞれが調査対象の中でどの程度の割合を占めるかを調査する。 → 機構において実施

## ① 不一致の発生状況

- ・ どの記録の間に不一致があるか（例：紙台帳と基金記録）
- ・ 特定証拠書類の有無
- ・ 国の被保険者記録の訂正履歴があるか
- ・ 不一致記録の発生時期

## ② 不一致項目

- ・ 基本項目の相違（氏名、基礎年金番号、生年月日、性別）
- ・ 資格記録の相違（期間、報酬、種別）
- ・ 不一致の内容

※ ①と②はクロス表にするイメージ

(2) (1) の調査を行った事例のうち、基金記録誤りと想定されるケースについて、不一致の発生原因として考えられる要因（※）について基金にアンケートを実施。結果を分析する。 → 年金局において実施

※・事業主の届出漏れ（全部・一部）

- ・ 事業主の届出誤り
- ・ 基金における入力誤り 等

## ○ スケジュール

- ・ 9 月～ 事務センター及び基金に対して調査を実施、とりまとめ
- ・ 11 月目途 検討会において結果をご報告